

第8回酒田港国際資源循環フォーラムが開催されました

10月23日（火）、第8回酒田港国際資源循環フォーラム（主催：NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター）が酒田市内で開催されました。このフォーラムは、平成15年に酒田港がリサイクルポートに指定され、さらに平成23年に日本海側拠点港（リサイクル貨物部門）に位置づけられたことを契機に、日本海側対岸諸国との交流とリサイクル関連ビジネスの拡大を目的として始められたものです。

第8回となる今回は、国土交通省港湾局海洋・環境課 成川和也港湾環境政策室長が「リサイクルポートの高度化計画について」、東北大学大学院国際文化研究科の劉庭秀教授が「中国の廃棄物資源輸入禁止政策の実態とその対策」、酒田 FRC 有限責任事業組合の齋藤茂氏が「藻場造成にかかわる FRC ブロックの活用」と題し、それぞれ講演されました。また鼎談では、リサイクル資源を酒田に集めるにはどうすれば良いかというテーマで意見を交わされました。



主催者挨拶
NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター
富樫邦男理事長



講演
国土交通省 港湾局海洋・環境課
成川和也港湾環境政策室長



講演
東北大学大学院国際文化研究科 国際文化研究専攻
国際環境資源政策論講座 劉庭秀教授



講演
酒田 FRC 有限責任事業組合
齋藤茂職務執行者



鼎談（司会）
リサイクルポート推進協議会
本野晃朗主任研究員



鼎談の様子

